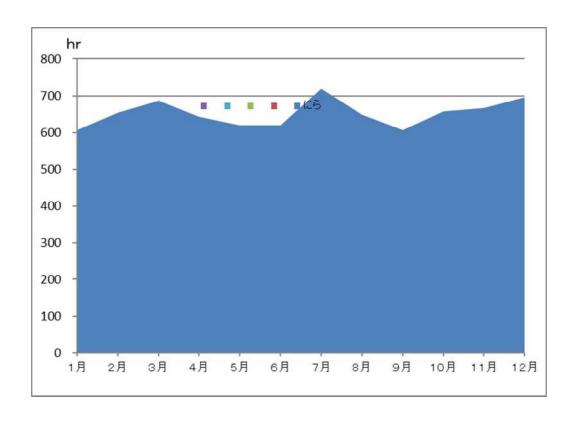
新規就農者モデルの生産概況と栽培・経営のポイント(R5~) 経営面積:30a、労働力:夫婦2名、家族労働力1名検討

生産地・面積	佐	伯市5.	4ha										
品目	にら			単位	備 考								
販売量	17,100			kg/30a									
単価(税込)		6	70	円/kg	過去5年中最大、最小年を除いた3年の平均(税込)								
販売額	11	<mark>,457,0</mark>	000	円/30a									
経費	8	,389,6	00	円									
原材料費	1	,260,7	38	円/30a 種苗、肥料、農薬など									
施設•機械費		547,6	60	円/30a	円/30a 光熱費、修繕費など								
減価償却費	1	,108,6	557	円/30a									
出荷販売経費	3	,440,7	25	円/30a	農協・市場手数料、運賃、計量結束費ほか								
専従者給与		960,0											
支払地代		108,0			農地面積は施設面積の1.8倍を想定、地代:20,000円/10a								
その他		963,8			左記は就農5年目を想定した数値です						物値です		
所得額	3	<mark>,067,4</mark>		円/30a		<u> </u>			+ #	<u>一</u>	—	ン /こ多 	以直で9
所得率			27	%									
家計費	2	,400,0		円									
税(家計)	450,000 円												
償還財源	1,326,057 円				所得額一家計費一税(家計)+減価償却費								
償還金	1,259,923 円				就農時に借りた借金の返済(年間)								
次年度繰越		<mark>66,134</mark> 円 次年度への繰越金											
(注)調整(そぐりなど)は自分で行う。 (注)償還金は、借入額に応じて変動します。家計費、税(家計)は、家族構成等により変動します。													
	1月	2月	3)	月 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
	0			<u> </u>									夏にら
作型(作業体系)	播種			定植				J	収穫				
				O-			—						冬にら
				播種									
			Ц	又穫									
	-	Ŀづくり		定植前に	こ土壌消	肖毒、ラ	・肥施	用なと	を行	5 。		•	
	育苗			本圃10a当たり育苗床2aが必要。									
######	定植			夏にらは3~4月、冬にらは6~7月に定植し、周年出荷する。									
栽培のポイント	栽培管理			定植後は、除草、中耕を行い、こまめな灌水管理、液肥施用を適時行う。									
	病害虫			白斑葉枯病、さび病、白絹病、アザミウマ類、ネダニ類など。予防的な対策が 重要。									
	単価			近年は、670円/kg前後。単価は比較的安定している。									
	販売			販売は、農協の県域共販体制が整備されている。									
経営のポイント	施設(投資)			裏面の一覧表参照									
	労働		30aだと夫婦2人のみでも可能。家族労働力1人を調整作業を行うことを検討。 主な作業は育苗管理、定植、かん水、施肥、薬剤防除、収穫、調整等。一番 大変な作業は収穫後の傷み葉、はずれ葉等を取り除く調整作業。										



施設•機械一覧

	規模·能力	費用(円)	補助率	自己負担額(円)
にらハウス	30a	34,894,762	2/3	11,630,762
用水工事	突き井戸 ポンプ	808,500	2/3	269,500
そぐり機 コンプレッサー	1台 1台	1,039,500	2/3	346,500
管理機	1台	650,000	3/4	162,000
調整室	1棟	3,575,000	3/4	893,000
トラクター	1台	2,180,000	3/4	545,000
予冷庫	1台	1,000,000	3/4	250,000
動力噴霧機	1台	352,880	1/2	175,880
軽トラック	1台	1,400,000	補助なし	1,400,000
合計		45,900,642		15,672,642

※中古機械を活用することで自己負担額を下げることもできる